

31日コミセン

三重高「文化系も頑張っている」

演劇や合唱を一般公開



発表会のちらしを手に来場を呼び掛けるバトン部の皆さん＝松阪市久保町の三重高で

松阪市久保町の市立三重高等学校の文化系クラブは、31日午前10時から、同市川井町の市コミユニティ文化センターで新入生らを招待し、一般も入場無料にしての第1回文化部合同発表会（三重高校文化部有志の会）を開く。文化系のクラブの合同公演は市内の高校では初の試みという。同発表会実行委員会事務局を務める演劇部顧問の山田陽一郎教諭は「あまり見る機会のない文化部員らの地道な活動の成果をぜひ一瞥してほしい」と呼び掛けている。

同高ではここ数年、少子化による生徒数の減少や、運動部人気の高まりにより文化系クラブの部員が減り続けている。8年前に10人いた演劇部も

現在では5人。登場人物が多岐にわたる芝居はできず、演目が限られるなどの問題が生じている。また、音楽系（旧音楽科）が2003年で募集停止となった

ことに伴い発表の場を失っていた音楽関係のクラブからも、新たな発表の場を求める声も挙がっていた。そこで昨年7月、演劇部や合唱部などが中心となり、同発表会実行委員会を立ち上げて各クラブに参加を呼び掛け、15クラブによる開催が決定した。新入生に日ごろの活動の様子を知ってもらい、入部につながると同時に一般にも開放することで、校外の人にも文化系クラブの面白さを伝えるのが狙い。

発表会のテーマは「文化はみんなが主人公」。これまで個別で活動が続けてきた文化部が手を取り合い公演を開催するという新たな試みに向け、文化部員のひとり一人がベストを尽くそうという熱意が込められている。当日は午前10時に開会し、午後4時まで。ホールでは7クラブが舞台発表し、ロビーでは、美術部などの8クラブが作品展示などをやる。このうちバトン部（馬場友梨佳部長、2年）では当日、バトン演技「GOLD」でポンポンやバトンを使ったダンス4曲を披露する。馬場部長は「たまに応援部の一部と勘違いされることがある。当日は私たちの明るく楽しく息の合った演技を見てほしい」と自信満々に話している。

2006.3